

2006年10月6日

平成19年度 奨学金・学費サポート制度調査

# 学校独自の奨学金・学費サポート制度の実施状況

2006年8月に、東北・関東・北陸・東海・近畿・中四国地方の大学・短期大学・専門学校を対象に、「平成19年度 学費・奨学金・特待生制度に関するアンケート」を実施した。そのうち、1,149校の学校からアンケートの回答をいただいた。

今回のアンケートは、日本学生支援機構の奨学金や地方公共団体の奨学金などの外部の奨学金ではなく、各学校の独自財源による校内奨学金制度や特待生制度、その他の学費サポート制度の実施状況についての情報を収集することを目的に実施した。

## 独自奨学金制度等の実施状況

[表1]は、アンケートに回答していただいた学校のうち、独自の奨学金制度、特待生制度、その他の学費サポート制度をどの程度実施しているかを、大学・短期大学・専門学校に分けて示している。

[表1] 独自奨学金制度等実施率

種別	回答校数	独自奨学金あり	実施率
1.大学	261	212	81.2%
2.短期大学	124	101	81.5%
3.専門学校	764	481	63.0%
4.その他	2	2	100.0%
<b>合計</b>	<b>1,149</b>	<b>794</b>	<b>69.1%</b>

これを見ると、大学・短期大学の場合は、独自の奨学金制度や特待生度を、80%以上で実施していることがわかる。それに対して、専門学校では、まだ63%の学校しか独自の制度を設けていない。

## 独自奨学金・特待生制度の応募条件

[表2]は、独自の奨学金・特待生制度や学費サポート制度を実施している794校について、各奨学金制度に応募する場合、どのような条件が設けられているのかを調べたものである。1校で複数の制度を実施しているところもあり、今回の調査では、上の794校で2,029の奨学金・特待生制度などを実施していることがわかった。複数の条件が設定されていることが多いので、各応募条件の実施率を合計しても100%にはならない。

[表2] 独自奨学金制度等への応募条件

応募条件	実施率
成績	53.2%
出欠状況	14.0%
経済的理由	27.8%
資格	7.0%
部活動	2.5%
その他	42.6%

**<1> 成績を応募条件とする奨学金制度**

これを見ると、独自奨学金制度などに応募するための条件として、半分以上の制度が、成績を条件にしている。これは、入学時に申し込む場合には、高校のときの評定平均値や入学試験の成績を条件としており、在学生の場合には、前年度の成績を条件にしている。成績を条件にした奨学金制度でユニークなものとして、朝日大学（岐阜県）は、「学業奨励奨学金」という名称で、一般入学試験で総点の80%以上の成績を取得した者を対象に、年額950,000円を支給している。

**<2> 経済的理由を応募条件とする奨学金制度**

経済的理由を条件にするものも27.8%あり、これは、学費支弁者の死亡、失職、被災、病気等で家計が急変し、経済的に修学が困難と認められる者を対象にするものである。この条件でユニークなものは、関西大学（大阪府）の「関西大学短期貸付金制度」で、自宅以外からの通学者で仕送りが遅延し、一時的に就学または学生生活の維持が困難になった場合に、上限30,000円（事情により50,000円）までの短期的な貸付金制度である。

**<3> 出欠状況を応募条件とする奨学金制度**

出欠状況を条件にするものは14%であり、主に高校3年間の欠席日数が10日以内とか8日以内などの条件がつけられている。学校法人太田アカデミー（太田情報商科専門学校・太田医療技術専門学校・太田自動車整備専門学校）では、高校1年次から3年1学期まで完全皆勤（無遅刻・無早退・無欠席）を達成した者を対象に、「皆勤特待生制度」を実施している。

**<4> 資格取得を応募条件とする奨学金制度**

資格取得を条件にした奨学金制度は、7%しかないが、たとえば、仙台大原簿記公務員専門学校（宮城県）は、「特別奨学生制度」において、取得した資格によって次のような奨学金を設けている。

[表3] 仙台大原簿記公務員専門学校の「特別奨学生制度」

ランク	免除額	資格条件
A	入学金相当額と授業料2年分相当額免除	日商簿記1級、全経簿記上級、ソフトウェア開発技術者のいずれか
C	入学金相当額と授業料半期分相当額	基本情報技術者
D	入学金相当額	全商3種類以上1級、初級システムアドミニストレータ、日商簿記2級、英検準2級以上、漢字能力検定2級以上、公務員試験一次合格（郵政公社を含む）、全経簿記1級のいずれか
E	入学金半額相当額	全商簿記1級、全商情報処理検定1級、全商コンピュータ利用技術検定、全工情報技術検定1級、電卓技能検定有段、秘書技能検定2級、危険物取扱者乙4類のいずれか

**<5> 部活動等を応募条件とする奨学金制度**

部活動などでの活躍を応募条件とする制度は、2.5%と少ないが、仙台デザイン専門学校（宮城県）は、高校在学中に、全日本高校デザイン・イラスト展、または絵画・イラスト・デザイン・漫画等芸術分野の公募

展・コンクールなどでの入賞・入選、また同分野において得意な技術・能力を生かした自主的活動の実績があり、それを証明できる者を対象に、入学金全額または半額を免除する「特別推薦入試」を実施している。

#### <6> その他の応募条件の奨学金制度

その他の条件としてユニークなものとして、盛岡情報ビジネス専門学校（岩手県）は、体験入学やイベントに4回以上参加した者を対象にした奨学生制度を実施している。面接・作文・書類審査で選考し、合格者には入学金を支給するというものである。

他にも、湘北短期大学（神奈川県）には、短大主催の『英語スピーチコンテスト』の高校生部門における優秀発表者を対象とした「英語スピーチコンテスト奨学制度」があり、『夏季海外研修旅行』に参加する場合の費用を全額免除する。

さらに、高山自動車短期大学では、在学中に各種モータースポーツ国内公式戦に参戦する者に対して、授業料のうち年額300,000円を免除する「高山自動車短期大学モータースポーツ奨学生制度」を実施している。

#### 独自奨学金・特待生制度の選考方法

奨学生や特待生の選考に際して、どのような方法を採用しているのかをまとめたのが、[表4]である。選考方法としては、面接と書類審査が70%前後と実施率が最も高い。また、特待生制度の場合は、入学試験での成績を選考基準にするものが多いため、学科試験も44.3%と高くなっている。

[表4] 独自奨学金制度等の選考方法

選考方法	実施率
学科試験	44.3%
面接	71.8%
書類審査	69.9%
小論文・作文	19.8%
その他	17.2%

その他の中で、最も多かったのが、適性検査を課するというものである。また、実技試験を課するものもあり、東京ミュージック＆メディアアーツ尚美（東京都）の「特待生入学制度」では、専門分野に対する知識・技術を見るために実技試験を実施し、合格者には初年度年間授業料半額が支給される。

ユニークなものとしては、次のようなi-SEIFU清風情報工科学院（大阪府）の「奨学生出願制度」がある。

[表5] i-SEIFU清風情報工科学院の「奨学生出願制度」

コース	選考方法	免除額
1. 自分発見コース	自分発見シートの記入 + 自己PR	AA奨学生...60万円免除 A奨学生...30万円免除 B奨学生...20万円免除 C奨学生...10万円免除
2. タイピングコース	タイピング + 自己PR	
3. 何でも資格コース	資格の申告(資格・検定合格証のコピーを提出) + 自己PR	
4. 学科試験コース	英語・国語(または数学)の合計2科目 + 自己PR	